

歴史総合、世界史探求

【I】 「歴史総合」の授業で、千野さんと土井さんは「戦後の日本の歩み」というテーマを探究し、調べた内容を以下のようなノートにまとめた。これに関し、設問に答えなさい。

〔戦後の日本の歩み〕

1. 国際関係

(1) 占領と冷戦構造の影響 (1945～)

- ・敗戦後、日本はGHQによる占領下に入る
- ・当初は「非軍事化・民主化」が目的 → 冷戦の激化で日本は「反共の砦」へ

(2) 国際社会への復帰 (1950～)

- ・サンフランシスコ平和条約 (1951) → 日本の主権回復
①
- ・日米安全保障条約 (1951) → 米軍駐留継続
→ 冷戦下でアメリカ陣営に位置づけられる
- ・ X (1956) → 日本の国連加盟

2. 国内政治

(1) 戦後民主主義の出発 (1945～1950)

- ・治安維持法廃止・選挙制度改革・教育改革・財閥解体など民主化政策が進む
②

(2) 55年体制の成立 (1955)

- ③
- ・鳩山一郎内閣の憲法改正・再軍備 → 社会党が再統一して反対
- ・自由党と日本民主党が合併 → 自由民主党 (自民党)誕生
→ 自民党 (保守)vs 社会党 (革新)の二大勢力構図
- ・冷戦構造を背景に、保守：日米同盟・成長重視 革新：平和・社会保障重視

(3) 安保改定と政治の転機

- ・ Y 内閣で新安保条約が成立 (1960) → 安保闘争

3. 経済・社会・文化

(1) 経済復興と成長

- ・ 戦後のインフレ → 緊縮財政と単一為替レートで安定
- ・ 朝鮮戦争勃発 (1950) → 朝鮮戦争特需で急速な景気回復 (特需景気)
- ・ 重化学工業を中心に成長 (1955～)
- ・ 池田内閣「所得倍增計画」 → 高度経済成長への幕開け

(2) 社会の変化

- ・ 都市化・サラリーマン層の増加
- ・ 教育水準の向上, テレビの普及, 生活文化の多様化
- ・ 東京オリンピック (1964) に向けて「戦後からの復興」へ

(3) 国家観や社会理念の変化

- ・ 「戦争をしない国」「経済で世界に貢献する国」という新しい国家像
- ・ 民主主義と平和主義を社会で共有

設 問

1. ノート中の空欄 には後の記述 a か b, 空欄 には c か d のいずれかが当てはまる. 空欄 ・ に当てはまるものの組み合わせとして適切なものを選択肢から 1 つ選び, その記号をマークしなさい.

Xに当てはまる語句

- a. 日ソ共同宣言
- b. 日韓基本条約

Yに当てはまる語句

- c. 岸 信介
- d. 佐藤栄作

ア. X-a, Y-c イ. X-a, Y-d ウ. X-b, Y-c エ. X-b, Y-d

2. 下線部①に関して、千野さんと土井さんは、サンフランシスコ平和条約を調べて、以下の資料を見つけた。資料中の空欄 X Y Z に当てはまる地域の組み合わせとして適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 2

サンフランシスコ平和条約第2条(抜粋)

- (a)日本国は、 X の独立を承認して、濟州島、巨文島及び鬱陵島を含む朝鮮に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。
- (b)日本国は、 Y 及び澎湖諸島に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。
- (c)日本国は、 Z 並びに日本国が千九百五年九月五日のポーツマス条約の結果として主権を獲得した樺太の一部及びこれに近接する諸島に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。

(以下略)

- | | | |
|---------|--------|--------|
| ア. X 台湾 | Y 千島列島 | Z 朝鮮 |
| イ. X 朝鮮 | Y 満州 | Z 千島列島 |
| ウ. X 満州 | Y 千島列島 | Z 朝鮮 |
| エ. X 朝鮮 | Y 台湾 | Z 千島列島 |

3. 下線部②に関して、千野さんと土井さんは、「戦後の民主化政策」に関心をもって、教育改革でどんな出来事があったのかについて調べた。「教育改革」の説明として適切でないものはどれか。選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 3

ア. 1946年にジョージ＝ストダードを団長としてアメリカから教育使節団が派遣された。この使節団の勧告をもとに日本の教育改革が進められた。

イ. 戦前からあった教育委員会やPTA(父母と先生の会)は、民主的であると判断され、戦後も継続された。

ウ. 1947年に制定された教育基本法には、教育の目的として平和的な国家および社会の形成者になるよう自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成がうたわれた。

エ. 戦前の義務教育は、国民学校の期間を除き小学校の3～6年間だけであったが、戦後の義務教育は中学校も加えられて、小学校と中学校の9年間となった。

4. 下線部③に関して、千野さんと土井さんは、「55年体制」に関心をもって、当時の国内政治と国際情勢の関係について調べた。「55年体制」の説明として適切なものはどれか。選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 4

ア. 1955年に、日本社会党と日本共産党が合同して成立し、保守勢力を抑えて社会主義政権を実現したことで、国際社会で日本は非同盟中立路線に転換した。

イ. 1950年代半ば、日本社会党を含む八党連立内閣が発足し、政治改革や選挙制度見直しを掲げたが、各党の主張が対立して短時間で崩壊し、再び保守政権が復活した。

ウ. 「55年体制」のもとでは、自民党が与党として経済成長と日米安保を基軸に政権を運営し、社会党は護憲・中立政策を掲げて対立した。冷戦構造の中で政権交代は起こらず、政治の安定が保たれた。

エ. 「55年体制」のもとでの日本外交は、アジア諸国との協調を拒み、戦後補償問題を解決しないまま孤立を続けたため、国際社会への信頼は回復しなかった。

5. 千野さんと土井さんは、戦後の日本経済について先生と話している。以下の会話文の空欄 X Y に当てはまるものの組み合わせとして適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 5

千野さん:先生、戦後の日本って、本当に何もかも壊れていたんですよね？教科書に「焼け野原」ってありますが、そこからどうやって立ち直れたのですか？いまいち想像できません。

先生:はい、実際に見た人たちは「灰の中から始めた」と言うくらい、すべてが失われていました。でも、そこにあったのは絶望だけではなく、「もう一度やり直そう」という強い気持ちでした。まずGHQが占領政策を始め、日本社会のしくみを根本から見直したんです。政治の民主化と同じように、経済も

「民主化」されました。財閥を解体し、農地改革で小作農に土地を与え、労働者にも団結の権利を保障した。つまり、支配する側とされる側の関係を変えて、経済の土台をつくり直したんですね。

土井さん:なるほど。しくみを変えたんですね。でも、しくみを変えただけでお金が回るようになりますか？お金も物が足りないままで、暮らしは厳しかったんじゃないですか？

先生:その通りです。物価が暴騰して、みんな困っていました。そこで1949年に X という緊縮政策を導入します。要するに、無駄なお金を使わず、経済を落ち着かせようという方針です。それで、確かにインフレは収まりましたが、企業倒産や失業が増えました。

千野さん:それでは元気になれないですよ。経済が実際に動き出したきっかけって何かあったんですか？

先生:すごくいいところに気づきましたね。1950年に朝鮮戦争が起きて、アメリカ軍が日本に軍需品を発注したんです。これは「朝鮮特需」と呼ばれます。トラック、鉄鋼、繊維、通信機など、あらゆる産業が再び動き出しました。これで企業の設備投資が進み、失業が減り、生活にも活気が戻っていきました。ここで得た経験と技術が、のちの日本の輸出産業の基礎になります。つまり、戦争を直接しなかった日本が、間接的に経済復興のチャンスをつかんだんですね。

土井さん:なるほど。じゃあ、その後の1950年代にはもう景気が安定してきたんですか？

先生:1955年ごろになると「Y」というスローガンが語られるようになります。特需の勢いは落ち着きましたが、日本の企業が自立して成長できるようになりました。技術力を磨き、輸出を伸ばし、家電や自動車などの新しい産業が育っていきます。社会の空気も少しずつ明るくなり、「生活を立て直す」から「よりよく暮らす」へと、人々の目標が変わっていきました。

千野さん:それが「所得倍増計画」を掲げた池田勇人内閣につながるんですね。

- | | |
|----------------|------------------|
| ア. X：ニューディール政策 | Y：国民生活は量から質へ |
| イ. X：高橋財政 | Y：変革の時代をどう生きるか |
| ウ. X：シャープ勧告 | Y：ジャパン・アズ・ナンバーワン |
| エ. X：ドッジ＝ライン | Y：もはや戦後ではない |

【Ⅱ】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

14世紀のはじめ、アナトリア西部にトルコ系のオスマン帝国が成立した。オスマン帝国は勢力を拡大したが、1402年に□6でティムール軍に大敗して一時的に弱体化した。しかし、その後、内紛を克服して再び強勢となり、1453年にはコンスタンティノープルを占領してビザンツ帝国を滅ぼした。以後、オスマン帝国はコンスタンティノープルを首都とし、^①ビザンツ帝国から継承した中央集権的統治制度に、トルコ的な軍事力を結びつけることで、強大な帝国へと発展した。16世紀の西アジアでは、バルカン半島・アナトリア西部にはオスマン帝国が勢力を拡大した。同時期、イランでは、神秘主義教団の指導者が、最初の首都になる□7を占領して、サファヴィー朝を建てた。オスマン帝国はこのサファヴィー朝とも争いながら、アナトリア東部を支配下に入れた。さらに帝国は南下し、1517年にマムルーク朝を滅ぼしてシリア・エジプトを領有した。

同じころ、南アジアでは、ティムールの子孫であるバーブルがカーブルを拠点に北インドに進出し、イスラーム王朝であるムガル帝国の基礎を築いた。^③

16世紀後半になると、オスマン帝国は第10代スルタンの□8のもと積極的な拡大政策を推し進めて、ハンガリーを征服し、オーストリアのウィーンまで軍を進めたほか、新たに海軍を編制して、ヴェネツィアなどの艦隊を破り、北アフリカに至る地中海の制海権を得た。^④

17世紀には、オスマン帝国は東西への領土拡大を終えて安定期に入った。しかし、1699年の□9の締結によって、東欧での覇権を失い、帝国の動揺が始まった。さらに、徴税請負制の拡大により地方で富と権力が集中し、各地に有力者が台頭するようになった。

19世紀に入ると、オスマン帝国では帝国の再建を目指して、1839年から司法・行政・財政・軍事にわたる大規模な改革であるタンジマートが開始された。^⑤この改革は、宗教や民族の差異にかかわらず法の前での臣民の平等を認めるオスマン主義に基づき、法治主義的な近代国家の形成をめざしたものであった。しかし、クリミア戦争によって莫大な戦費負担が発生し、オスマン帝国は対外借款に依存するようになった。^⑥この結果、1875年には財政が破綻して、改革は十分な成果を上げることができなかった。

3. 下線部②に関連して、サファヴィー朝の説明として適切ではないものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 11

ア. サファヴィー朝は、イラクの支配についてもオスマン帝国と争った。

イ. 16世紀後半に即位したイスマーイール1世は首都を移し、その首都は「世界の半分」とうたわれるほど繁栄した。

ウ. 手工業分野でイラン産の絹糸は特に高値で取引され、それを用いて織られた絨毯なども各地で重用された。

エ. シーア派の穏健な一派である十二イマーム派の教えを受け入れ、シーア派信仰の整備に努めた。

4. 下線部③に関連して、ムガル帝国に関する説明として適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 12

ア. 第3代皇帝のアクバルは、支配階級の組織化を図るため、官僚に序列をつけ、その位階に応じて給与や保持すべき騎兵・騎馬の数を決定するマンサブダール制を導入した。

イ. 第3代皇帝のアクバルは、税収を増やすため非イスラーム教徒にのみ人頭税を導入した、これにより、ヒンドゥー教徒の反発を招いた。

ウ. 第5代皇帝シャー＝ジャハーン時代に最大の領土となった。

エ. 第6代皇帝アウラングゼーブは、非イスラーム教徒のみに課す人頭税を廃止して、イスラーム教とヒンドゥー教の融和を図った。

5. 下線部④に関連して、1538年にオスマン帝国が神聖ローマ帝国・ヴェネツィア連合軍を破った戦いとして適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 13

ア. アルマダの海戦

イ. プレヴェザの海戦

ウ. アクティウムの海戦

エ. トラファルガーの海戦

6. 下線部⑤に関連して、1876年に発布されたオスマン帝国憲法の説明として適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 14

ア. オスマン帝国憲法は、皇帝専制体制を前提としており、議会の設置を認めていなかった。

イ. オスマン臣民が公務に任用されるためには、公用語であるアラビア語を解しなくてはならないとされた。

ウ. オスマン帝国の国教はイスラーム教であるとされていた。

エ. オスマン帝国憲法は、当時のスルタンであったミドハド＝パシャによって起草された。

7. 下線部⑥に関連して、1853年に始まったクリミア戦争の説明として適切なものを選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 15

ア. オスマン帝国がロシアと同盟して、イギリス・フランスの中東進出を阻止するために始めた戦争である。

イ. ロシアがオスマン帝国内のギリシア正教徒の保護を口実に勢力拡大を図ったことに対し、オスマン帝国がイギリス・フランスの支援を得て対抗した戦争である。

ウ. オスマン帝国がインドへのルート確保を目指してエジプトに侵攻し、これに反発したロシア・イギリスが連合してオスマン帝国を攻撃した戦争である。

エ. オスマン帝国が黒海支配をめぐるイギリスと直接対立し、ロシアが仲裁に入ったことから偶発的に拡大した戦争である。

【Ⅲ】「中世の西ヨーロッパ」について、次の各設問の空欄〔16〕～〔25〕に入る語および説明として適切なものを、選択肢からそれぞれ1つ選び、その記号をマークしなさい。

設 問

1. 中世の西ヨーロッパは王権が弱く、ローマ＝カトリックが西ヨーロッパ世界の普遍的な権威となった。このため農村社会において、教会は農民から〔16〕を取り立てたり、独自の裁判権ももっていた。

ア. 軍役免除税

イ. 酒 税

ウ. 人頭税

エ. 十分の一税

2. 教会が世俗権力の影響を受けて変容すると、クリュニー修道院を中心に教会改革運動が起こった。教皇グレゴリウス7世は聖職者の妻帯を禁止し、〔17〕。また、聖職叙任権を世俗権力から教会に取り戻して教皇権を強化しようとした。

ア. 修道院を解散した

イ. 聖職売買を禁止した

ウ. 聖書の翻訳を奨励した

エ. 十字軍への参加を呼びかけた

3. カノッサの屈辱やその後の皇帝派(ギベリン)と教皇派(ゲルフ)の対立など、教会と諸侯を巻き込んだ叙任権闘争は、1122年に神聖ローマ皇帝ハインリヒ5世と教皇カリストゥス2世とのあいだで結ばれた〔18〕によって終結した。

ア. ヴェルダン条約

イ. トルデシリャス条約

ウ. ヴォルムス協約

エ. カトー＝カンブレジ条約

4. 聖地エルサレムの奪回を掲げて始まった十字軍は、第4回十字軍(1202～1204年)では、資金不足とヴェネツィア商人の思惑などにより、実際には [19] を占領して一時的に東ローマ帝国は断絶した。

ア. アテネ

イ. ニカイア

ウ. コンスタンティノープル

エ. アンティオキア

5. 中世ヨーロッパでは12世紀から13世紀にかけて、都市は自治を獲得して、商業が活発化した。このうち、リューベックを中心とする [20] は北海・バルト海交易で繁栄した。

ア. シュマルカルデン同盟

イ. ハンザ同盟

ウ. ユトレヒト同盟

エ. ロンバルディア同盟

6. 中世ヨーロッパでは商人ギルドと同職ギルド(ツunft)があったが、 [21] .

ア. 同職ギルドでは商品の品質や価格を一切統制せず、各工房の自由競争を尊重した

イ. 同職ギルドは商人ギルドと争いながら市政への参加を実現した

ウ. 同職ギルドでは親方・職人・徒弟が同等な身分と権利をもつ組合員であった

エ. 同職ギルドは非組合員にも自由な製造・販売を認め市場を活性化させた

7. 13世紀のイングランド(イギリス)では、マグナ=カルタとオックスフォード条項を守らなかったヘンリ3世に対して、 [22] が1264年に反乱を起こして、国王を打ち破った。 [22] は高位聖職者・大貴族の会議に有力諸侯や州や都市代表を加えて国政を協議し、これが現在にまで至るイギリス議会の起源となった。

ア. オリヴァー=クロムウェル

イ. ロバート=フィッツウォルター

ウ. ワット=タイラー

エ. シモン=ド=モンフォール

8. 1328年にフランスでシャルル4世が死去してカペー朝が断絶すると、いとこのフィリップ6世がフランス国王となった。これに対してシャルル4世の母方の甥にあたるイングランドのエドワード3世がフランス王位の継承権を主張して百年戦争(1339～1453年)が始まった。しかし、百年戦争の背景には、王位継承問題のほかに、23をめぐる経済的な要因があった。

- ア. フランドル地方の毛織物 イ. ブルゴーニュ地方のワイン
ウ. ノルマンディー地方の乳製品 エ. ロレーヌ地方の鉄製品

9. スコラ学は24哲学に大きな影響を受けた。スコラ学を代表するトマス＝アキナスは『神学大全』を著してキリスト教神学を体系化した。

- ア. ピタゴラス イ. デモクリトス
ウ. アリストテレス エ. プロタゴラス

10. 12世紀のヨーロッパでは、大聖堂の建設が各地で盛んに行われたが、ランス大聖堂やシャルトル大聖堂に代表されるゴシック様式は、25。

- ア. 半円形のアーチに厚い石壁をもつ重厚さがあり、要塞のような外観が特徴であった
イ. パステルカラーを基調に曲線・曲面を多用して繊細で優美な外観が特徴であった
ウ. 頭部のとがった尖塔と高くそびえる塔や美しく飾られたステンドグラスが特徴であった
エ. ギリシア・ローマの古典建築の要素を取り入れて、左右対称や比例といった均衡が特徴であった

(問題終わり)